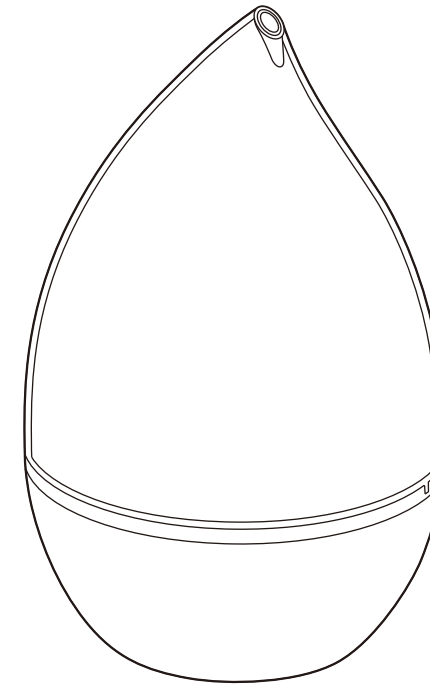


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

超音波式加湿器 MZ-FCT40 (4.0 リットル)



もくじ

■安全上のご注意	1~4
■各部の名称とはたらき	5~6
■知っておいていただきたいこと	6
■使いかた	7~14
■お手入れと保管	14~17
■故障かな?と思ったら	17
■仕様	18
■アフターサービスについて	18
■保証書	裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社加湿器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意


ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。


※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。


絵表示の例


 記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


 記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。


※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


警告


 **交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない**
●延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して発火・火災の原因になります。


 **分解・修理・改造をしない**
●火災・感電・けがの原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。


 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
●感電・発熱による火災の原因になります。

 **傷んだ電源コードや電源プラグは使用しない**
●感電・ショート・発火の原因になります。

 **お手入れのときは必ず運転を停止し電源プラグをコンセントから抜く**
●感電・やけど・けが・故障の原因になります。


 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
●感電・ショート・けがの原因になります。

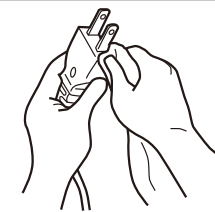
 **包装用ポリ袋はお子さまの手の届かない場所に保管する**
●誤って顔にかぶったり巻きついたりして窒息する原因になります。


 **吸気口やすき間にピンや針金金属物などの異物を入れない**
●感電・けが・故障の原因になります。





警告

 **定期的に電源プラグのほこりを取る**
電源プラグにピンやゴミを付着させない
指示に従う ●刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると感電・ショート・発火の原因になります。
また、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
※電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。




 **本体に故障・異常・破損があったり電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する**
●火災・感電・けがの原因になります。
故障・異常例
17ページの「こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。


 **電源コードの上に本体をのせたり挟み込まない**
禁止 ●電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。

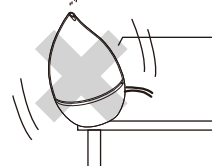
 **本体を水につけたり、水をかけたり丸洗いをしない**
水ぬれ禁止 ●故障・感電・ショート・火災の原因になります。





 **お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤を使用しない**
禁止 ●有毒ガスが発生し健康を害する原因になります。




 **不安定な場所で使用しない**
禁止 ●転倒や落下して水がこぼれたり破損・故障・けがをする原因になります。

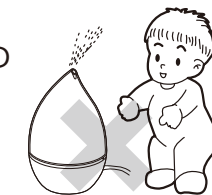



 **電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねて使用したりしない**

 **電源コードを傷つけたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりたばねて使用したりしない**
●また、重いものをのせたり挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。
※結束バンドは必ずはずす

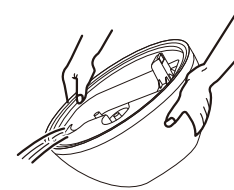



 **お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない**
禁止 ●感電・やけど・けがの原因になります。

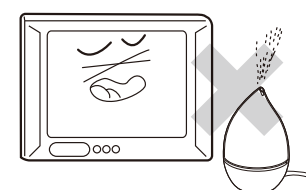


 **排水するときは、水タンクカバー・水タンク・抗菌カートリッジを取りはずし排水方向に従って排水する**

指示に従う ●排水方向を間違えると本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。



 **電気製品や精密機器（パソコン）などの近くでは使用しない**
禁止 ●電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒によって浸水すると感電・故障・発火の原因になります。

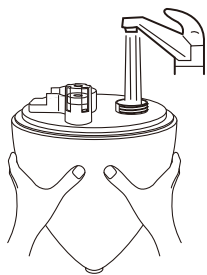


警告

! 水タンクの水は毎日新しく入れ替える

指示に従う

● 水を入れ替えずに長期間使用するとカビや雑菌が繁殖して異臭がしたり健康を害する原因になります。



禁止 吹出口から噴霧される霧は吸入しない

禁止

● 健康を害する原因になります。



禁止 アロマオイルはアロマトレイ内のアロマケース以外に入れたり、付着させない

禁止

● ひび割れ・破損の原因になります。

注意

禁止 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

禁止

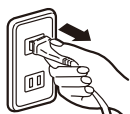
● 感電・ショート・発火の原因になります。
※必ず電源プラグを持って引き抜いてください。



プラグを抜く 外出するときなど使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく

プラグを抜く

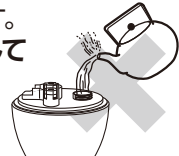
● 絶縁劣化による感電や漏電により、火災・やけど・けがの原因になります。
● 水漏れ・カビ・異臭の原因になります。



禁止 水タンク内にお湯(40℃以上)や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤アロマオイルを入れて使用しない

禁止

● 故障の原因になります。
※必ず水道水を使用してください。



禁止 この加湿器は室内(居住空間)の加湿専用ですこれ以外の目的では使用しない

禁止

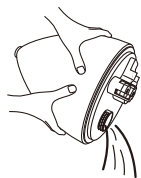
● 漏電・火災・感電・やけど・故障の原因になります。



! 寒冷地などで凍結のおそれのあるときは、水タンク・水槽・霧化部の水を捨てる

指示に従う

● 水タンクが割れたり故障の原因になります。



禁止 吹出口や吸気口をふさがない

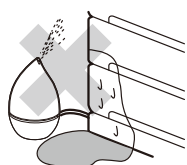
禁止

● 紙や布などでふさぐと変形・故障の原因になります。

禁止 湿度の高い(70%以上)所では使用しない

禁止

● 家具や床を湿らせたりぬらす原因になります。



禁止 本体の上に腰をかけたり、足をのせたりしない

禁止

● 水がこぼれたり、破損の原因になります。

注意

禁止 使用中や水タンク・水槽・霧化部に水が入った状態で持ち運んだり傾けたり、動かしたりしない

禁止

● 水が漏れて床などがぬれる原因になります。

! 水タンクを取りはずしたり、セットするときには、両手で水タンクをしっかり持っておこなう

指示に従う

● 落下すると破損・けがの原因になります。

! 移動や持ち運ぶときは運転を停止し両手で本体をしっかり持っておこなう

指示に従う

● 落下すると破損・故障・けがの原因になります。
また、引きずって移動などをおこなうと畳や床などに傷をつける原因になります。

! お手入れはこまめにおこなう

指示に従う

● 霧化部(振動子)に水アカなどが付着したまま使用を続けると、加湿量の低下や故障の原因になります。

禁止 水槽や霧化部への直接給水はしない

禁止

● 送風口から本体内部に水が入ってショート・感電・故障の原因になります。
● 水位が規定以上になり、水漏れや噴霧が出なくなったり、故障の原因になります。

禁止 本製品は一般家庭用です絶対に業務用に使用しない

禁止

● 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。

禁止 掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない

禁止

● 変質・破損などにより、けが・事故の原因になります。

禁止 本製品は屋内専用です絶対に屋外で使用しない

禁止

● 屋内での使用に基づき設計されています。屋外で使用すると、故障・漏電・火災・事故の原因になります。

! 使用する環境に注意する

指示に従う

● 使用する環境により、本体や周辺(床や置台)に水滴が付着したりぬれる原因になります。
● 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
● 空調機器などの風向き状態
● 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
● 加湿量を「強」で運転しているとき
● 狭い場所や閉め切った場所

禁止 直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない

禁止

● 水漏れや噴霧しなくなる原因になります。
● プラスチック部分の変形・変質することがあります。

※水滴が付着したり、床などがぬれるときは7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。

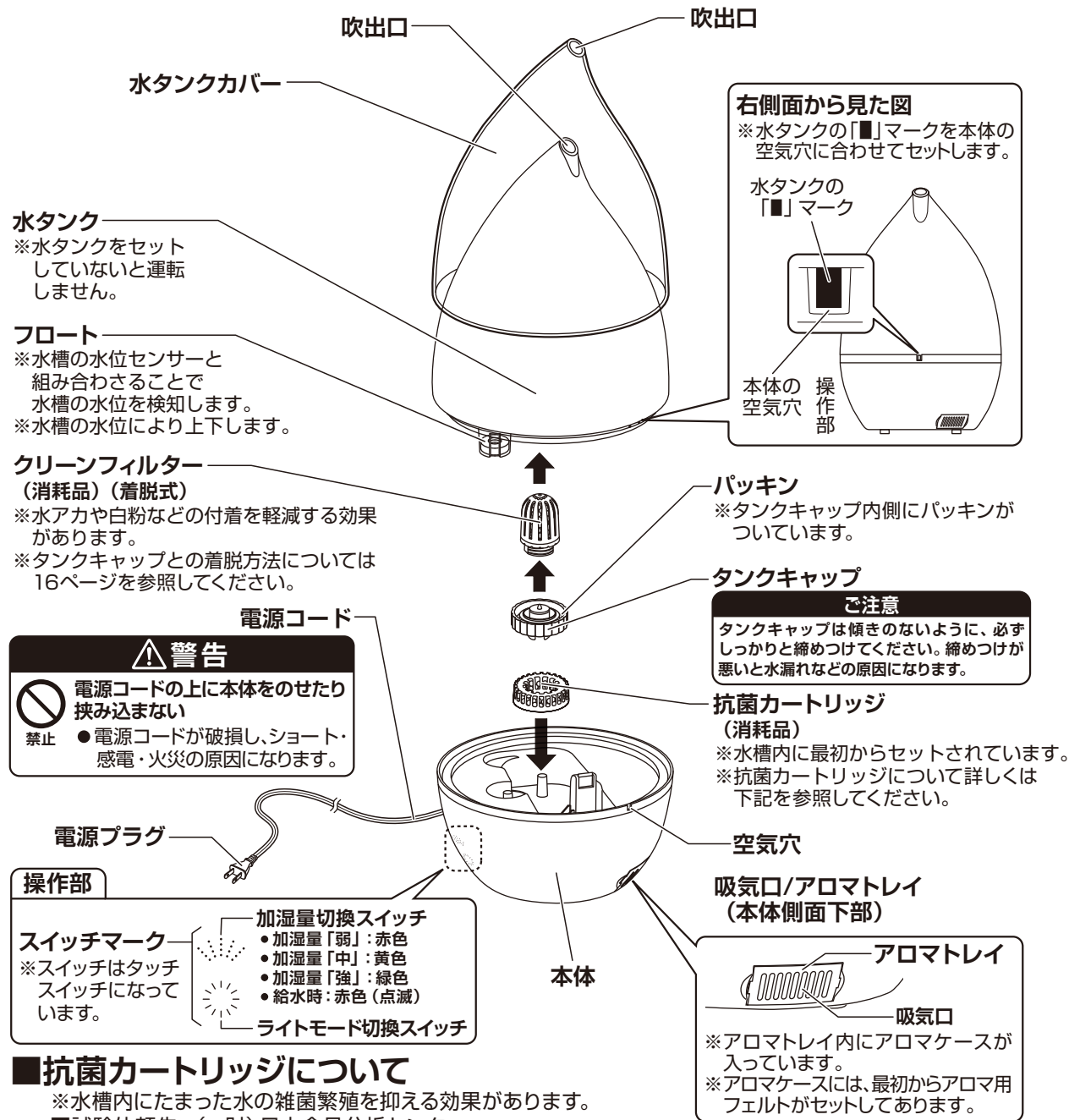
禁止 お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

禁止

● 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。
※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



各部の名称とはたらき



■抗菌カートリッジについて

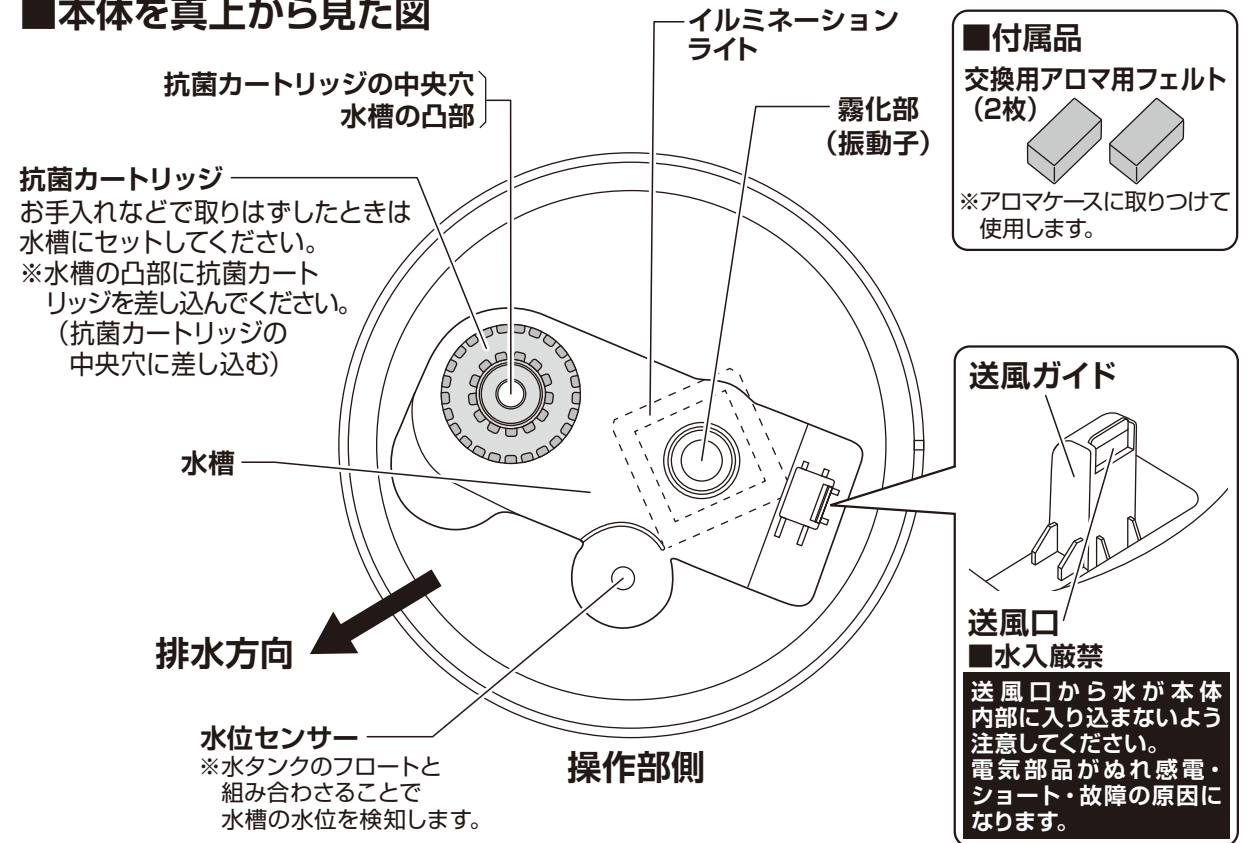
- ※水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果があります。
- 試験依頼先: (一財) 日本食品分析センター
- 試験方法: 菌液に抗菌セラミックボールを添加した試料液を、20℃で振とうしながら保存し24時間後に試料液中の生菌数を測定。
- 抗菌の方法: 抗菌カートリッジ内に抗菌セラミックボールが入っています。抗菌セラミックボールにより雑菌の繁殖を抑制します。
- 対象: 抗菌カートリッジを配置した水槽内の水。
- 試験結果: 24時間で99%以上抑制。試験成績書番号 第17078925002-0101号
- ※抗菌カートリッジに入っている抗菌セラミックボールが水槽の水につかることで、水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果はありますが、完全に菌を死滅させるものではありません。
- より清潔にお使いいただくためにも、水タンクや水槽の水は毎日入れ替えてご使用ください。

■お知らせ 検査のために使用した水が、製品に付着している場合がありますが、品質やご使用上、影響はありません。気になる場合は、ゆすいだり、ふき取ってください。

●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

各部の名称とはたらき つづき

■本体を真上から見た図



知っておいていただきたいこと

■加湿器の周辺にできる白粉について

- ※加湿器から発生する霧が蒸発すると加湿器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が固形化したもので、有害なものではありませんが、加湿器周辺で電気製品や精密機器 (パソコン) などを使用されたり、家具などの近くで使用すると霧が蒸発したあと白粉が生じ、電気製品や精密機器の動作不良や故障、家具などを傷める原因になる場合があります。白粉が付着した場合は、すぐに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取ってください。

■霧化部 (振動子) 周辺の付着物 (水アカ) について

- ※加湿器を使用していると、霧化部の周辺に変色した付着物や白い付着物がつくことがあります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が引き寄せられ水アカとなって付着したものです。水アカは放置すると固着して取れなくなり、故障や水漏れの原因となりますので、必ずこまめに水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。

■炎色反応について

- ※燃焼器具のある室内で加湿器をご使用になると、炎の色が赤味を帯びてくる場合があります。これは、水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が反応 (炎色反応) したためで異常ではありません。

使 用 法

ご使用上の注意

■正しい置き場所

吹出口から上方1m以内に噴霧をさえぎるものがなく、壁、家具などの変形、シミ防止のため、周囲との距離が十分に確保できる、安定した水平な場所に置いてご使用ください。

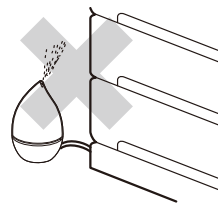
■良くない置き場所

特に注意していただきたい置き場所

■本体の設置場所に注意

- 直射日光が当たる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない
- 水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げない
熱で水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出されたり、水タンクを何度も持ち上げるにより、必要以上に水が流れ出て水槽内の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。
このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。

- 吹出口から出る噴霧が直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類（ふすま・書物・ポスターなど）にあたる所
家具などにシミや変形が起きたり、故障の原因になることがあります。
また、白粉が家具などに付着することがあります。
(特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください)



- 傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器（パソコン）などの近く
電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ感電・故障などの原因になります。
また、静電気により、白粉が電気製品や精密機器（パソコン）に付着して故障の原因になります。



■使用する環境に注意

使用する環境により、本体や周辺（床や置台）に水滴が付着したり、ぬれることがあります。

- 室内の温度が低い状態や湿度が高い状態
- 空調機器などの風向き状態
- 室内が無風状態で噴霧が拡散されない状態
- 狭い場所や閉め切った場所
- 加湿量を「強」で運転しているとき

水滴が付着したり、床などがぬれるときは、下記のように使用してください。

- 加湿量を「弱」にする
 - 空調機器などの風向きをかえる
 - 空気中で噴霧が気化するようにテーブルの上など床から離して本体を設置する
- ※特に就寝時や近くから離れる場合は注意してください。

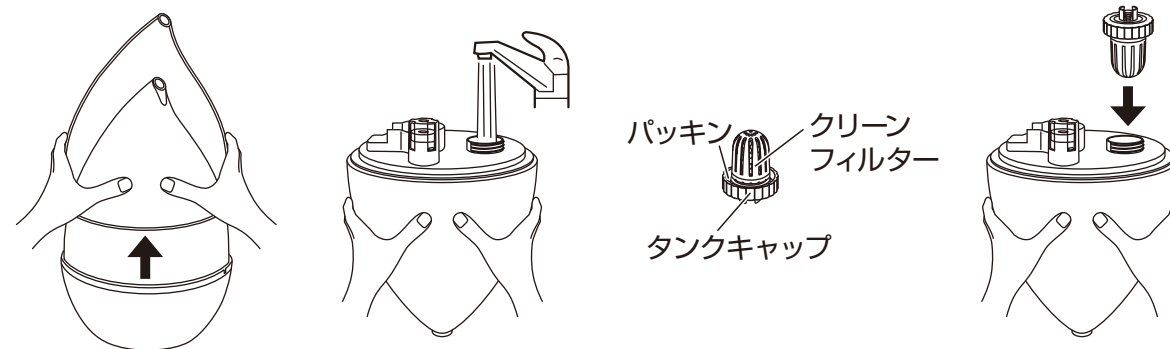
使 用 法 つづき

ご 注 意

※水タンクを取りはずしたりセットするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

1 水タンクに水を入れる

- 水タンクカバーを取りはずします。
- 本体から水タンクを取りはずし、タンクキャップをはずして水タンクの中に水道水を入れます。
- 水を入れたら、タンクキャップをしっかりと締めます。



⚠ 注意

- 水タンク内にお湯（40℃以上）や氷水、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない
禁止 ●故障の原因になります。
※必ず水道水を使用してください。

- 水タンクを取りはずしたり、セットするときは、両手で水タンクをしっかりと持ってこなう
指示に従う ●落下すると破損・けがの原因になります。

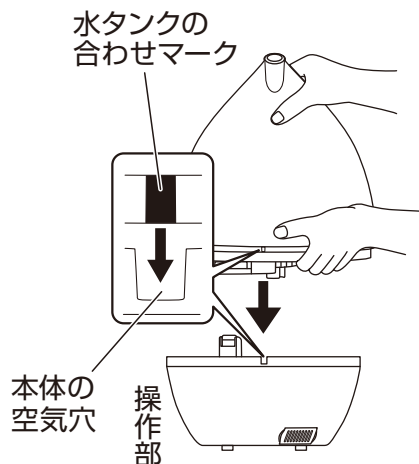
ご使用上の注意

- ※タンクキャップを締めつける前にタンクキャップの内側にパッキンがついていることを確認してください。
パッキンが取り付けられていないと水漏れの原因になります。
- ※タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めつけてください。
タンクキャップを締めつけたあとに、タンクキャップを下側にして水タンクを2~3回軽く振り、水タンクから水漏れがないか必ず確認をしてから本体にセットしてください。
タンクキャップの締めつけがゆるかったり、傾いて締めつけられたりしていると水タンクから水漏れすることがあります。
- ※水タンク・水槽・霧化部に異物（ヘアピン・マッチ棒・クリップなど）を入れないでください。
故障の原因になります。
- ※水タンクの取り扱いは丁寧におこなってください。
水タンクを取りはずしたりセットするときは、両手で水タンクをしっかりと持ってください。
落下させたり、衝撃を与えると破損やけがの原因になります。

使 用 法

2 水タンクをセットする

- 両手で水タンクをしっかり持ち、ゆっくりとセットします。
- 水タンクの合わせマーク「■」と本体の空気穴を合わせて水タンクを本体にセットします。
- このとき水タンク内の水が、水槽や霧化部に流れ込んでいるかを一度水タンクを持ち上げ確認します。

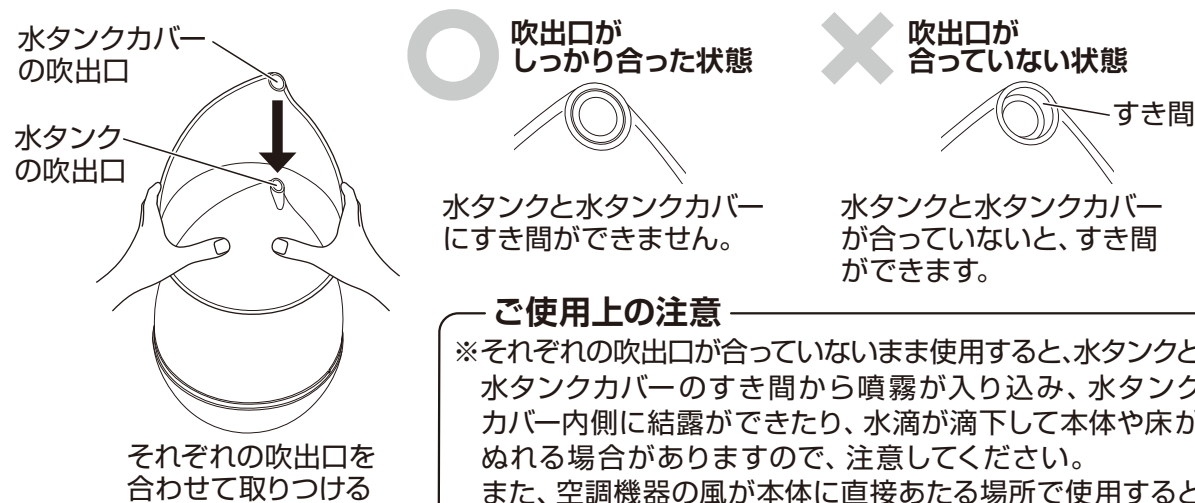


ご使用上の注意

- ※水槽・霧化部への直接給水はしないでください。
- ※水タンクが正しくセットされていないとすき間などから噴霧が漏れ、水滴となって流れ出し床などをぬらしたり、故障の原因になります。
- ※水タンクを本体にセットしたあと何度も持ち上げると、水タンクから必要以上に水が流れ出て水槽の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。
- ※水の入った水タンクを本体にセットしたままや、水槽や霧化部に水が入っている状態で本体を持ち運ばないでください。移動のとき水タンクから必要以上に水が流れ出て水槽の水位が上がり、水が漏れて衣服や床をぬらしたり、噴霧が少なくなったり、出なくなる場合があります。本体を持ち運ぶときは、必ず水タンクを取りはずし水槽や霧化部の水を排水してから持ち運んでください。

3 水タンクに水タンクカバーを取りつける

- 下図を参照して水タンクに水タンクカバーを取りつけます。



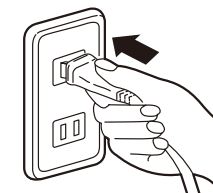
ご使用上の注意

- ※それぞれの吹出口が合っていないまま使用すると、水タンクと水タンクカバーのすき間から噴霧が入り込み、水タンクカバー内側に結露ができたり、水滴が滴下して本体や床がぬれる場合がありますので、注意してください。また、空調機器の風が本体に直接あたる場所で使用するとすき間から噴霧が入り込みやすくなりますので、注意してください。

使 用 法

4 電源コードの結束バンドを必ずはずし電源プラグをコンセントに差し込む

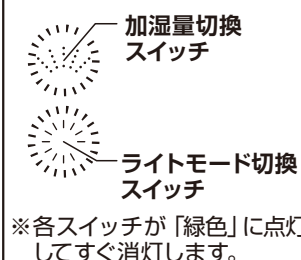
- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。
- ※電源プラグを差し込むと、操作部の各スイッチが「緑色」に点灯してすぐ消灯し、待機状態となります。



ご使用上の注意

- ※電源コードをたばねたまま使用しないでください。
- ※電源プラグをコンセントに差し込んだまま、本体を持って移動したり、向きを変えたりすると、意図せずタッチスイッチに触れて運転が開始したり、停止してしまう場合がありますので、注意してください。本体を移動したり、向きを変えるときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

操作部



※各スイッチが「緑色」に点灯してすぐ消灯します。

5 運転する

- 加湿量切換スイッチをタッチすると、スイッチが「赤色」に点灯し、加湿量「弱」で加湿運転を開始します。

ご使用上の注意

- ※水タンクを本体にセットしたあと、水槽に水が十分たまるまで（約1分間程度）は加湿量切換スイッチをタッチしないでください。

操作部



■加湿運転開始直後の噴霧の見えかたについて

加湿運転開始直後や下記のような環境の場合は、噴霧が安定しないため噴霧が見えにくかったり、少ない場合がありますが、故障や異常ではありません。

しばらく運転することで噴霧が安定します。

- ① 運転開始直後……振動子が安定するまでに、多少時間がかかるため。
- ② 水温や室温が低い状態……水温や室温に影響され振動子が安定するまでに、長く時間がかかるため。

また、室温が高かったり、湿度が低い環境の場合噴霧が空気中に気化しやすいため見えにくかったり、少ない場合があります。

噴霧が見えにくいときの確認方法

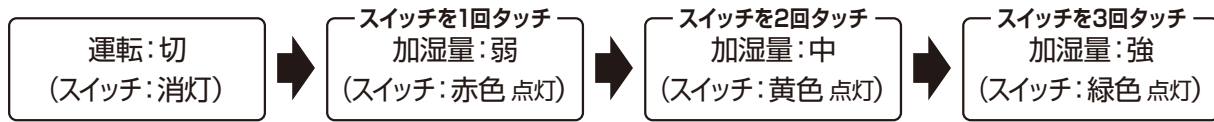
手を吹出口に近づけ手が湿ったり、ぬれれば噴霧（加湿）をおこなっています。

使いかたつづき

5 運転する つづき

■加湿量を切り換えるには

- 加湿量は「弱」「中」「強」の3段階で切り換えることができます。
- 加湿量切換スイッチをタッチすると下図のように加湿量とスイッチの色が順送りでかわります。スイッチの色を見ながら、お好みに合わせて切り換えてください。



※加湿運転を停止するときは、加湿量「強」の状態から1回タッチすると停止します。

■ご使用上の注意

- ※使用する環境により、本体や周辺(床や置台)に水滴が付着したり、ぬれることがあります。水滴が付着したり、床などがぬれるときは、7ページの「使用する環境に注意」を参照して注意しながら使用してください。
- ※本体の設置場所により、水漏れや家具などにシミや変形が起きたり、電気製品などが故障することがあります。7ページの「特に注意していただきたい置き場所」を参照して、置き場所に注意して使用してください。
- ※加湿量を「弱」で運転したとき、室内の温度や湿度の状況により、噴霧が見えにくい場合があります。
- ※運転中に本体から水タンクを取りはずすと、加湿量切換スイッチが「赤色」に数回点滅してから消灯し、自動的に加湿運転を停止します。

■イルミネーションライトを使用するには

〔7色自動変化イルミネーションを使用する場合〕

- ライトモード切換スイッチをタッチすると、スイッチが「緑色」に点灯し、イルミネーションライトが点灯して紫から赤までの色が自動的に変化します。
- ※色が変化している途中でライトモード切換スイッチをタッチするとスイッチをタッチしたときの色で固定することができます。

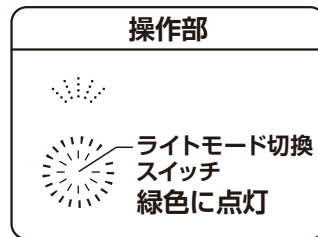
〔イルミネーションライトをお好みの色で使用する場合〕

- ライトモード切換スイッチをタッチしてお好みの色を選んでご使用ください。

〔イルミネーションライトを消灯したい場合〕

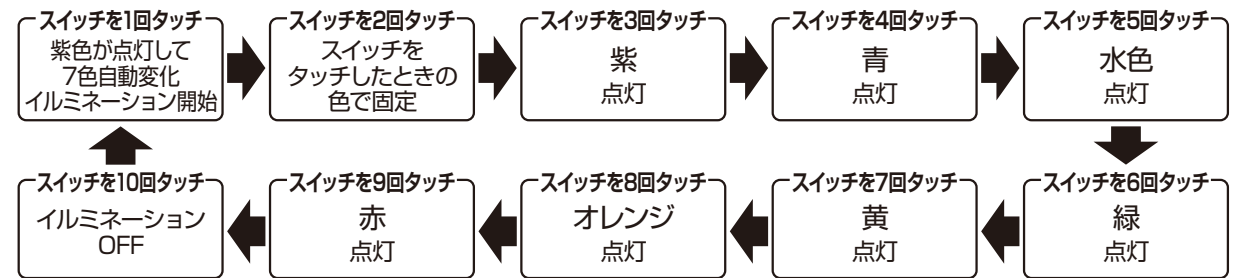
- ライトモード切換スイッチをタッチして消灯してください。

スイッチをタッチしたときの色の变化については、12ページの「ライトモード切換スイッチをタッチしたときの色の变化」に記載の図を参照してください。



使いかたつづき

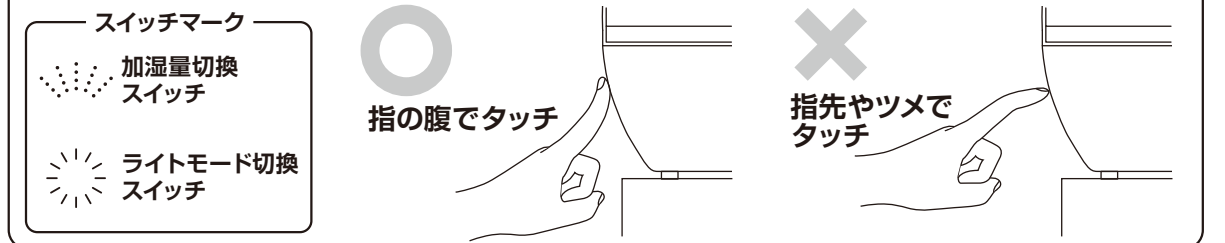
ライトモード切換スイッチをタッチしたときの色の变化



※イルミネーションライトは水槽の下(本体内部)に設置されているため、加湿運転中など水槽内の水が揺れるとイルミネーションライトの光も揺らいで見えますが異常ではありません。

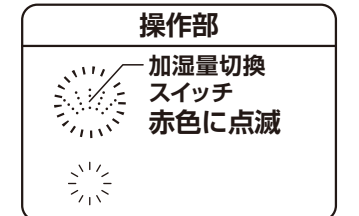
タッチスイッチについて

※本製品は、スイッチにタッチ(触れる)することで動作するタッチスイッチになっています。スイッチにタッチするときは、必ずスイッチマークの中心部を指の腹でしっかりタッチしてください。指先やツメなどでタッチすると反応しない場合がありますので、注意してください。



■加湿量切換スイッチが「赤色」に点滅した場合

- 水タンクの水が無くなると、加湿量切換スイッチが「赤色」に数回点滅してから消灯し、自動的に加湿運転を停止します。
- 連続して加湿運転をする場合は、水タンクに給水して運転を再開してください。



■連続して運転するときの注意

※水タンクを本体にセットしたあと、水槽に水が十分たまるまで(約1分間程度)は加湿量切換スイッチをタッチしないでください。

6 ご使用後は電源プラグをコンセントから抜く

- 加湿量切換スイッチをタッチして、スイッチを消灯させてから電源プラグを抜きます。
- 水アカの固着防止のため排水をします。
- ※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、少し時間をおいてから排水してください。

▲注意

- 外出するときなど使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いて排水しておく
- 絶縁劣化による感電や漏電により、火災・やけど・けがの原因になります。
- 水漏れ・カビ・異臭の原因になります。

■ご使用上の注意

※長時間ご使用にならないときは、水タンクと本体に残っている水は必ず排水してください。そのまま放置しておくと水漏れ、カビや雑菌の繁殖、異臭の原因になります。

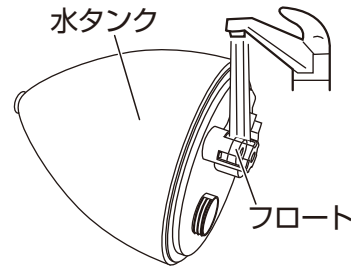
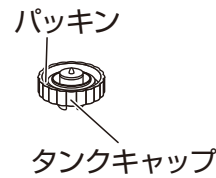
お手入れと保管 つづき

■水タンク (毎回)

- タンクキャップをはずし、水タンク内に水を半分かくらい入れタンクキャップをしっかり締めつけて水タンクを軽く振り、水を排水します。
(2~3回繰り返してください)
- フロートの周りのゴミは水で洗い流し取り除きます。
※フロートの周りにゴミなどが付着するとフロートが正常に動作しない場合があります。
- お手入れのあとは外側の水気をきれいにふき取ります。

ご使用上の注意

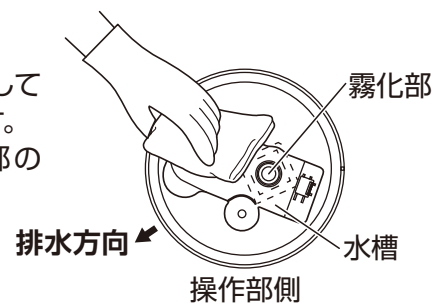
- ※タンクキャップのパッキンがはずれたときは、元どおりに取りつけてください。
(水漏れの原因)
- ※ご使用後や給水時に水タンクを持ち上げたとき、水タンク底面についた水滴が滴下することがあります。
水タンクを持ち上げるときや持ち運ぶときは、床などをぬらすおそれがありますので、注意してください。



■水槽・霧化部 (1週間に1回以上)

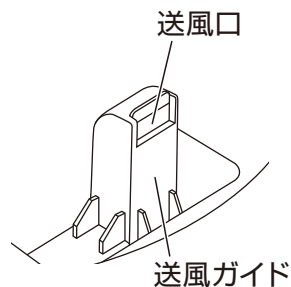
- 水タンクカバー・水タンク・抗菌カートリッジを取りはずして本体に指示してあります排水方向に本体を傾け排水します。
- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって水槽や霧化部の水アカや汚れを取ります。

水アカは放置すると固着して取れなくなります。
必ずこまめにお手入れをしてください。



ご使用上の注意

- ※お手入れ中は水槽や霧化部に水をいっぱい入れないでください。
- ※霧化部のお手入れは水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってお手入れしてください。
金属ブラシなどのかたいもので霧化部の表面をこすらないでください。
傷がつき故障や腐食の原因になります。
- ※お手入れ中や排水時などは、送風口から水が本体内部に入り込まないように注意してください。
電気部品がぬれ故障の原因になります。



ワンポイントアドバイス

■霧化部の水アカがお手入れしてもきれにならない場合

- 酢またはレモン果汁25mL (大さじ約2杯) を混ぜた水 (1L) を水タンクに入れ、約15分運転してからお手入れをしてください。
- ※霧化部周辺が熱を持つことがありますので、お手入れは少し時間をおいてからおこなってください。
- ※タンクキャップは、クリーンフィルターを取りはずしてから水タンクに取りつけてください。

お手入れと保管 つづき

■クリーンフィルター (1週間に1回以上)

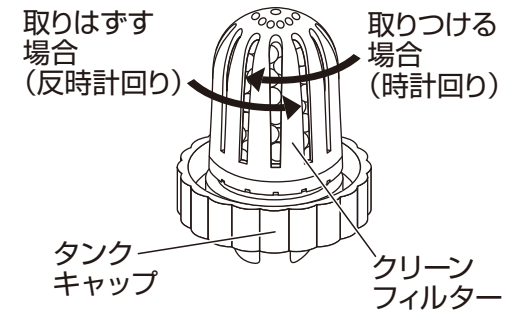
- 水で洗い流しながらクリーンフィルターを数回振って内部の汚れを落としたあと、表面の汚れを柔らかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。
※クリーンフィルターは水道水に含まれるカルシウムなどのミネラル分を吸着し、水アカや白粉などの付着を軽減する効果があります。

■クリーンフィルターの交換時期

- クリーンフィルターは消耗品です。
交換時期の目安は、1日約8時間の運転で約半年です。

(クリーンフィルター、タンクキャップの着脱)

タンクキャップを持ってクリーンフィルターを下図のように回します。



■抗菌カートリッジ (1週間に1回以上)

- 水で洗い流しながら抗菌カートリッジを数回振って内部の汚れを落としたあと、表面の汚れを柔らかいふきんでふき取り、よく乾燥させます。
※抗菌カートリッジは水槽内にたまった水の雑菌繁殖を抑える効果があります。

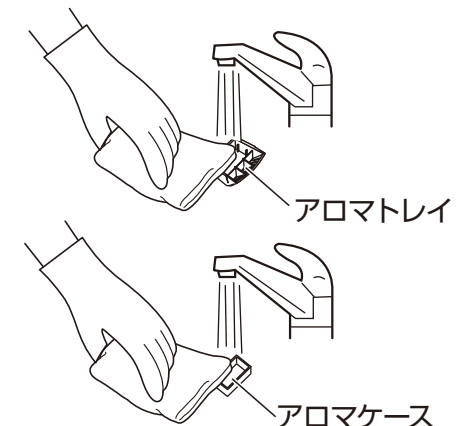
■抗菌カートリッジの交換時期

- 抗菌カートリッジは消耗品です。
交換時期の目安は、1日約8時間の運転で約半年です。



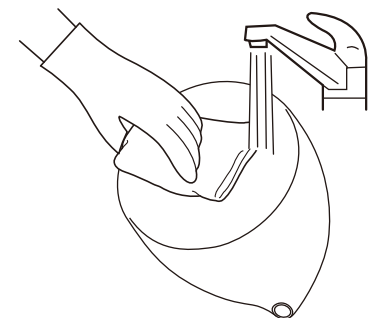
■アロマトレイ・アロマケース (1週間に1回以上)

- アロマトレイを取りはずし、アロマケースとアロマ用フェルトを取りはずします。
- アロマトレイとアロマケースを水洗いしながら柔らかいふきんで汚れをふき取り、よく乾燥させます。
※アロマトレイは吸気口も兼ねています。
本製品を使用するときは、アロマオイルを使用していなくても必ずアロマトレイを取りつけて使用してください。
故障の原因になります。



■水タンクカバー

- 水洗いしながら柔らかいふきんで汚れをふき取りよく乾燥させます。



お手入れと保管 つづき

■本体

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかいふきんでふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようきれいにふき取ります。

※本体の丸洗いは絶対におこなわないでください。

※お手入れのあとは、水分をきれいにふき取ってください。

抗菌カートリッジ・クリーンフィルター・水タンク・水タンクカバー・アロマトレイが正しく取り付けられていることを確認してから使用します。

■保管

- お手入れしたあとよく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。

(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)

故障かな?と思ったら

次の点検をおこなってください。

症状	原因	処置
運転(加湿)しない	●加湿量切換スイッチが消灯していませんか?	●加湿量切換スイッチをタッチしてスイッチを点灯させてください。
	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●加湿量切換スイッチが「赤色」に点滅したあと消灯して、運転が停止していませんか?	●水タンクの水が無くなると、加湿量切換スイッチが「赤色」に数回点滅してから消灯し、自動的に加湿運転を停止します。連続して加湿運転をする場合は水タンクに給水して運転を再開してください。
水漏れする	●温度が高くなる場所に本体を設置していませんか?	●直射日光のあたらない場所や暖房機器から離して本体を設置してください。
電源プラグが異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか?	●コンセントをお調べください。
	●タコ足配線や延長コードを使用していませんか?	●延長コードやコンセントの定格以内でご使用ください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- スイッチを入れても動かないことがある。
- 電源コードの被覆が破れている。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 水漏れする。
- その他の異常がある。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕様

電源	交流100V 50-60Hz
消費電力	20W
製品寸法(約)	幅:230mm × 奥行:230mm × 高さ:335mm
製品質量(約)	1.4kg
コード長(約)	1.5m
水タンク容量(約)	4.0L
※加湿量(目安)	「強」300mL/h 「中」190mL/h 「弱」100mL/h
※適用床面積(目安)	木造和室:約5畳 プレハブ洋室:約8畳 ※「強」運転時
※連続使用(加湿)時間(約)	「強」13時間 「中」21時間 「弱」40時間
安全装置	オートOFF機能:加湿量切換スイッチ赤色点滅時に振動子・ファンの停止電流ヒューズ
付属品	アロマ用フェルト×2枚

※製品の仕様や外観などは改善などのため予告なく変更する場合があります。

※本製品の加湿能力について(仕様欄の※印)

加湿量、適用床面積、連続使用(加湿)時間につきましては、室温20℃・湿度40~60%の条件の基で測定した値を表示しています。製品の加湿能力は部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。ご使用される条件によっては表示値に対して差異が生じることがあります。

■電気代について

「強」運転時(20W):1時間あたり約0.6円 ※電気代は、電気料金目安単価 27円/kWhを基に算出しています。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。その他詳細は、保証書を参照してください。

※ただしクリーンフィルターと抗菌カートリッジは、消耗品です。クリーンフィルターと抗菌カートリッジの注文は、保証期間内でも有料とさせていただきます。

●保証期間経過後の修理(有料)については、お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。

●消耗品(クリーンフィルター、抗菌カートリッジ)の購入については、お買い上げの販売店か下記に記載の連絡先までお問い合わせください。水タンクなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■消耗品

品名: 山善 超音波式加湿器用
交換用 クリーンフィルター

品番: MZ-CF2840

品名: 山善 超音波式加湿器用
交換用 抗菌カートリッジ

品番: MZ-KC2840

※販売店で購入するときは、上記内容をお伝えいただけますようお願いいたします。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」
ナビダイヤル ☎ 0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間: 10:00~17:00(土、日、祝日を除く)

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは ☎ 0120-680-287

●Eメールでのお問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

注意紙

規格銘板シール

W55×H33mm

使いかたやお手入れに関するご使用上の注意については取扱説明書を参照してください。	YAMAZEN BOOK 山善商品の 情報はこちら	
超音波式加湿器 MZ-FCT40	本製品についてのお問い合わせは「山善 家電お客様サービス係」	
MUSEE AC100V 50-60Hz 20W	●電話(ナビダイヤル) 0570-077-078	
電流ヒューズ: 2.5A	●Eメール info_m@yamazen.co.jp	
No.	株式会社 山善 2022年製 MADE IN CHINA	

注意シール

W14×H20mm



B5サイズ

W182×H257mm

特に知っておいていただきたいこと

ご使用前に必ずお読みください

特に注意していただきたい置き場所

■本体の設置場所に注意

- 直射日光があたる場所や暖房機器の近くなど温度が高くなる場所に本体を設置しない。
- 水タンクを本体にセットしたあと水タンクを何度も持ち上げない。
熱で水タンク内の空気が膨張し水タンクから水が押し出されたり、水タンクを何度も持ち上げるにより、必要以上に水が流れ出て水槽内の水位が上がり、水漏れや噴霧が少なくなったり、出なくなる原因になります。
このような場合は、水タンクを取りはずし水槽内の水を一度排水してから運転してください。
- 吹出口から出る噴霧が直接、家具、壁、カーテン、天井や紙類(ふすま・書物・ポスターなど)にあたる所。
家具などにシミや変形ができたり、故障の原因になることがあります。
また、白粉が家具などに付着することがあります。
(特に高級家具などがある場所でご使用の場合はご注意ください)
- 傾いた場所・不安定な場所・電気製品や精密機器(パソコン)などの近く。
電気製品が加湿によって湿気をおびたり、転倒すると水がこぼれ、感電・故障などの原因になります。
また、静電気により、白粉が電気製品や精密機器(パソコン)に付着して故障の原因になります。

タンクキャップについて

タンクキャップは傾きのないように、必ずしっかりと締めつけてください。
タンクキャップの締めつけがゆるかったり、傾いて締めつけられたりしていると水タンクから水漏れすることがあります。

加湿量切替スイッチが「赤色」に点滅した場合

水タンクの水が無くなると、加湿量切替スイッチが「赤色」に数秒間点滅してから消灯し、自動的に加湿運転を停止します。
連続して加湿運転をする場合は、水タンクに給水して運転を再開してください。

ご使用上の注意

※水タンクを本体にセットしたあと、水槽に水が十分たまるまで(約1分間程度)は加湿量切替スイッチをタッチしないでください。

お知らせ

加湿運転開始直後は、水温や室温などの影響で噴霧が見えにくかったり、少ないなど安定しないことがあります。故障や異常ではありません。
しばらく運転すると噴霧が安定します。

<J-22-J>

A6サイズ

W105×H148mm

特に知っておいていただきたいこと

ご使用前に必ずお読みください

アロマオイルについて

⚠ アロマオイルをご使用のときは、下記のことに十分注意してください。

⚠ 警告

アロマオイルは、アロマトレイ内のアロマケース以外に入れたり、付着させない。ひび割れ・破損の原因になります。

※アロマオイルをアロマトレイに直接入れたり水タンクに入れるなどアロマケース以外に入れたり、付着させるとプラスチックが変質して変形したり、ひび割れや破損の原因になります。

※アロマオイルが水槽内に入ってしまった場合はすぐに運転を停止し、一度水を排水してアロマオイルが残らないようにお手入れをしてください。

ご使用上の注意

※アロマオイルの中には通経作用のあるものがありますので、妊娠中の方がご使用される場合は、特にご注意ください。
※アロマオイルをご使用のときは、必ずご使用されるアロマオイルの取扱説明書などの注意書きをよくお読みのうえ、ご使用ください。

<J-22-K>

注意紙は縮小してあります